

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2026年1月26日（第2版）

承認番号	21041
課題名	神経膠腫におけるマルチモダール画像解析による分子診断技術の開発
研究期間	実施許可日 ～ 2028年3月31日
研究の対象	2010年1月以降に入院中あるいは通院中の神経膠腫症例全例
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報 <ul style="list-style-type: none"> ・年齢、性別、病理診断名、治療内容、治療経過（予後を含む） ・病理標本に対する免疫染色あるいは FISH からわかる遺伝子変異 ・術前、術後、経過中の放射線画像（DICOM 画像） <input checked="" type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：脳腫瘍組織ならびに病理標本） <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
外部への試料・情報提供	<input type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先：大阪大学医学部附属病院・大阪国際がんセンター・香川大学病院・北斗病院・宮崎大学医学部附属病院・国立がんセンター中央）院（提供方法：SSD や USB メモリーで提供しデータセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。照合表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。） <input type="checkbox"/> 海外へ提供（国名： ）（個人情報保護に関する制度の有無： ） （提供方法： ） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ） <input checked="" type="checkbox"/> 利用/提供予定日：（実施許可日から1ヵ月後）
研究組織	研究代表機関 機関名：国立大学法人 旭川医科大学 <ul style="list-style-type: none"> ○研究代表者 脳神経外科学講座 教授 木下 学 ○研究分担者 脳神経外科学講座 講師 広島 覚 三井 宣幸 脳神経外科学講座 学内講師 齊藤 仁十 脳神経外科学講座 助教 村上 皓紀、佐藤 広崇、福山 秀青 脳神経外科学講座 客員助教 真田 隆広 共同研究機関 機関名：大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学 教授 貴島 晴彦 特任助教 清水 豪士

	<p>機関名：宮崎大学医学部臨床神経学講座 脳神経外科学分野 教授 沖田 典子</p> <p>機関名：大阪国際がんセンター 脳神経外科 部長 有田 英之</p> <p>機関名：香川大学医学部 脳神経外科 教授 三宅 啓介</p> <p>機関名：社会医療法人 北斗 副理事長 井出 渉</p> <p>機関名：国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 科長 成田 善孝 医員 柳澤 俊介</p>
<p>研究の意義、目的</p>	<p>「神経膠腫」という脳腫瘍の診断・治療のためには様々な脳に関する画像検査を行います。具体的には、CT、MRI、PET 検査などといった脳画像検査を指すのですが、このような多数の検査（マルチモダール画像検査と呼びます）を比較することによって、各患者さんにとって最適な治療法や診断を決定しています。その一方で、近年このような画像検査技術もめざましく向上しているのですが、「これら画像検査所見が実際に患者さんの脳や腫瘍の状態とどのように関連しているのか？」という本質的な問題は未だに解明されていないのが現状です。「どのように画像検査の方法を工夫すれば、正しい診断に至るか」や「画像検査のどこに着目すれば今行っている治療の効果判定が正確にできるか？」という問題が解決できていないのです。</p> <p>本研究では、手術で摘出した腫瘍組織や患者さんの臨床経過と画像検査のデータを解析して、神経膠腫の画像診断技術を向上させることを目指しています。</p>
<p>研究の方法</p>	<p>(1) 対象となる患者さん 当院、脳神経外科に通院または入院していた患者さんで、神経膠腫の方を対象としております。ただし、合併症や治療経過により不適切と判断した患者さんは除きます。</p> <p>(2) 研究方法 治療中に撮影した各種放射線学画像（具体的には CT、MRI、PET 検査）を手術で得た腫瘍の病理標本や治療経過と比較して、放射線画像に何か神経膠腫の進行を予想できるような情報が含まれていないかどうかを検索します。画像解析は私たちが開発した独自のソフトウェアを使用します。</p> <p>(3) 検査および観察項目 この研究で調べる内容は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢、性別、病理診断名、治療内容、治療経過（予後を含む） ・病理標本に対する免疫染色あるいは FISH からわかる遺伝子変異 ・術前、術後、経過中の放射線画像（DICOM 画像）
<p>その他</p>	<p>今回の研究のために実施する画像解析費用は私たちの研究費で負担します。又、ご参加いただくにあたって、謝金などのお支払いはありません。</p>

お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>研究代表者：木下 学 旭川医科大学病院脳神経外科 所在地：旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 電 話：0166-68-2594</p> <p>研究責任者：木下 学 旭川医科大学病院脳神経外科 所在地：旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 電 話：0166-68-2594</p>
---------	--